

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	リハビリテーション概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	昼間部1年	学期	前期	教室名	803
担当教員	樋口 舞				
実務経験と その関連資格	作業療法士として回復期病院に勤務し身体障害領域に従事。 心身機能・活動・参加・環境に対する各種評価・作業療法を実施。 生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修修了。				
《授業科目における学習内容》					
リハビリテーションの概念(定義、歴史、目的)を理解し、障害受容について説明出来るよう学びます。また、チーム医療の重要性や障害者の気持ちを感じ、作業療法士・リハビリテーション専門職としての知識・態度を学びます。現場で働く先輩作業療法士や当事者の方からの講義を通じ、作業療法の理解を深めてもらいます。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験:40% レポート(外部講師含む):60パーセント					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「セラピストのための概説リハビリテーション」文光堂					
《授業外における学習方法》					
「セラピストのための概説リハビリテーション」を読んでおきましょう。 ICFについては、国際生活機能分類-国際障害分類改定版も参考にすると理解が深まるかと思しますので、ご活用ください。					
《履修に当たっての留意点》					
日本のリハビリテーションの歴史を生きてきたセラピストからの講義、障がい体験、そして当事者・先輩セラピストからの貴重な講義があります。直接、話がきける貴重な機会です。質問し更に理解を深めていけるよう、積極的な受講をお願いします。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの理念と目的について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:1 P2~15、P52~54	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションの理念と目的、リハビリテーションとは			
第2回	授業を通じての到達目標	ICIDH⇒ICFについて理解し、各構成要素について説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:2 P16~24	
	各コマにおける授業予定	ICIDHからICFへの背景を知る。各構成要素について			
第3回	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステム・地域医療の概要について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 3部:8 P170~173	
	各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムについて			
第4回	授業を通じての到達目標	障害受容の段階理論について説明することができる。 障がいを持たれた方の気持ちを知る。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 3部:10 P185~192 P141	
	各コマにおける授業予定	障害受容の段階について 障害体験①			
第5回	授業を通じての到達目標	障害体験を通じて感じる不自由さを他者と共有し、当事者の気持ちを考える。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 3部:10	
	各コマにおける授業予定	障害体験② レポート1			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	チーム医療の重要性について理解し、各職種の役割を説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部: P30～41
	各コマにおける授業予定	チーム医療に関わる職種の役割について演習を通して考える		
第7回	授業を通じての到達目標	チーム医療の重要性について理解し、各職種の役割を説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:4、2部 P30～41
	各コマにおける授業予定	チーム医療に関わる職種の役割について演習を通して考える レポート2		
第8回	授業を通じての到達目標	医療ソーシャルワーカー・医療事務の業務内容について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:4、2部 P88～91
	各コマにおける授業予定	医療ソーシャルワーカー・医療事務の理解 レポート3		
第9回	授業を通じての到達目標	理学療法士の業務内容について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:3 P44～P50
	各コマにおける授業予定	理学療法士の理解 レポート4		
第10回	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の業務内容について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:4、2部 P60～67
	各コマにおける授業予定	言語聴覚士の理解 レポート5		
第11回	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について理解し、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
	各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について レポート6		
第12回	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について理解し、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
	各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について レポート7		
第13回	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法について理解し、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
	各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について レポート8		
第14回	授業を通じての到達目標	障害を持つ当事者の気持ちについて考え、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
	各コマにおける授業予定	当事者からの授業 レポート9		
第15回	授業を通じての到達目標	障害を持つ当事者の気持ちについて考え、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
	各コマにおける授業予定	当事者からの授業 レポート10		